

2018年6月27日

2 学童保育サービス向上のための早急な施策実施の必要性について

○松本暁彦議員

2、学童保育サービス向上のための早急な施策実施の必要性についてですが、学童保育サービス向上への必要性についてお聞かせください。

○小林次世代育成部長

続きまして、学童保育サービス向上の必要性についてのご質問にお答えいたします。

昨今の女性の就業率の上昇や、保育所等の利用に係る支給認定者数の推移からも、保育を必要としている方々が増えており、今後も学童保育に対するニーズは高まってまいります。

本市における学童保育サービス向上の主なニーズといたしましては、保育時間の延長、土曜日保育の開室日数の増及び利用学年の延長等が挙げられます。これらのうち、保育時間の延長につきましては、子育て支援ニーズの対応策として優先順位の高いものと考えております。

○松本暁彦議員

続きまして、2番目、学童保育サービス向上のための早急な施策実施の必要性についてですが、状況については理解いたしました。

ニーズに応じたサービス向上は必須かと思えます。その中で、時間の延長は特に必要かと思えます。例えば、市職員が子どもを学童保育に預けた際に、17時15分で終わって、迎えに行けるのが18時ごろ。今、非正規、正規にかかわらず、共働きが増えており、子どもが一人では心配だから預けたという話や、19時ごろまでやってほしいという話はよく聞きます。適切なサービスを時代に合わせて実施すべきかと思えますが、どうお考えかお聞かせください。

○藤浦雅彦議長

次世代育成部長。

○小林次世代育成部長

学童保育室の開室時間につきましては、現在、午後5時30分までとなっており、保育時間延長の必要性は高いと認識をしております。また、保育時間を延長する場合の開室時間につきましては、市内保育所等の開室時間や近隣市の状況等を勘案し、考えてまいります。

○藤浦雅彦議長  
松本議員。

○松本暁彦議員

ぜひ19時実現を追求すべきです。現状を考えれば、昨年12月議会で水谷議員が詳細に議論された民間委託も含め、サービス向上を早急に進めるべきです。それは、ひとり親家庭が社会から孤立しないよう働き、そのつながりを維持することを支援する地域共育にもつながります。時代に対応すべく、できる限り早期に学童保育のサービス向上施策の実施を要望いたします。

また、地域共育という概念を多くの人に伝え、ファミリーサポーターの会員増加の協力も得られるよう、併せて要望させていただきます。